

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	安全・安心な学校と地域づくり推進事業(防犯カメラ設置事業)	所管	教育委員会教育総務部 教育施設課
			TEL 2998-9235

事業の目的 (何の為に 行うか)	校門周辺を職員室から監視し、学校内における児童の安全確保を図るとともに、不審者侵入に対して抑止効果をもたせる。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	小学校全校	対象とした数	32	校
		実際に 利用した数	2	校

活動の内容	(何を したか)	(緊急性、必要性、予算等を考慮の上、下記の優先順位により校門周辺に防犯カメラの設置を行う) 1. 放課後、平日夜間に学校開放している学校 2. 校門が職員室から見えない学校 3. 繁華街(市街地)に近い、もしくは人通りの多い道路に面している学校 4. 過去に不審者侵入事件があった学校 5. 小学校優先で整備							
		活動実績	項目名	防犯カメラ設置校数	2	-----	項目名	-----	項目名
				単位	校		単位		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	5,000	4,547	6,896	20.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	防犯カメラ設置率	小学校32校の内、防犯カメラを設置した校数 * 成果指標変更	32	8	0.3
			単位	件	単位
				件	単位
					%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120200	TEL	2998-9235
事業コード	安全・安心な学校と地域づくり推進事業(防犯カメラ設置事業)					
120204						
開始年度		平成 16 年度	—	終了年度	平成 年度	
グループ		施設修繕設備				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業	埼玉県防犯のまちづくり支援事業							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	2 教育環境の充実	小柱	(1)施設の整備と機器の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位				・実施計画における位置づけ… H19 O H20 A			
事業開始の背景	児童・生徒が安心して学習できる教育環境づくりの一環として、地域に開かれた学校づくりが求められる一方で、児童・生徒が狙われる事件や、不審者侵入事件も発生しており、学校における安全確保対策の実施が急務である。当該事業は、平成16年度は「学校施設修繕・改修事業」の中で実施したが、優先度の高い事業であるため、分離し、17年度から独立した事業とした。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)														
	校門周辺を職員室から監視し、学校内における児童の安全確保を図るとともに、不審者侵入に対して抑止効果をもたせる。														
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方									
	小学校全校					安全対策を実施した校数(防犯カメラ設置校数)									
	対象数	単位	平成 18 年度	32	校	平成 19 年度	32	校	利用数	単位	平成 18 年度	2	校	平成 19 年度	2
事業の具体的な内容及び実施方法 (緊急性、必要性、予算等を考慮の上、下記の優先順位により校門周辺に防犯カメラの設置を行う) 1. 放課後、平日夜間に学校開放している学校 2. 校門が職員室から見えない学校 3. 繁華街(市街地)が近い、もしくは人通りの多い道路に面している学校 4. 過去に不審者侵入事件があった学校 5. 小学校優先で整備															

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点 モニターのサイズを大きくし、さらに映像の分割表示をセンサー検知による自動切替表示方式としたため、不審者侵入に対する監視が強化された。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		5,000	5,000	5,000
	決算(見込み含む)		3,980	4,547	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		0.25 人 2,300	0.25 人 2,349	
	公債費				
	事業費合計		6,280	6,896	
	財源内訳	一般財源	4,291	3,896	3,000
		国・県支出金	1,989	3,000	2,000
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		18.6	20.3	
	利用数一単位あたり(単位:円)		3,140,000.0	3,447,750.0	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	防犯カメラ設置校数	計算方法	設置実績	単位	校	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績						2	2	2	
	成果分析	防犯カメラ設置率	小学校32校の内、防犯カメラを設置した校数	* 成果指標変更	件		32	32		32
					%	達成率	18.8%	25.0%		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要ななし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	的確に稼動するよう、センサーの種類や設置位置について研究する。					
	今期目標項目(何を)	校門付近への防犯カメラ設置	2校	達成水準(どこまで)	8月末	時期(いつまで)	
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価理由	学校における児童・生徒の安全確保は今後さらに必要になる。現在は1校あたり防犯カメラ2台程度の設置であるが、効果を勘案した上で今後、拡充していく必要がある。						
評価日	平成20年5月20日	記入者職氏名	教育施設担当 田中 文雄				

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性					
	事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	評価理由	カメラの設置は不審者対策として有効手段と考えられるため、各校への設置を着実に進められた。センサーの調整に課題があるため、総合評価は「改善・効率化」とした。予算については、県からの補助金が年度により増減があるものの、「現状どおり」の範囲内で取り組むべきと考える。					
評価日	9月1日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎個別計画			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				